

ヤマブドウ優良系統の選抜試験

1 研究のねらい

本県の特産物の一つであるヤマブドウを使った自然健康食品用の原料を安定供給するために、本県に適した品種系統を開発する。

2 方法

- (1) 平成3年度から、県内各地の野外から60系統のヤマブドウの蔓を採集し、挿し木苗を養成して滝沢村と矢巾町に植栽した。
- (2) 平成5年度に矢巾町に植栽した系統に結実が見られたことから、次の調査をした。
- (3) 遺伝的形質の優良な系統の判定に重要な因子である結実上位10房重量について比較した。
- (4) 調査は結実のあった系統各4本を対象に上位10房の重量を測定し、1本あたりの平均値を求めた。

3 結果

- (1) 平成5年度に植栽した19系統のうち12系統が結実した。
- (2) 1本あたりの結実上位10房重量平均は0.7kgであったが、多いもので1.1kgのものもあった。

4 成果と今後の進め方

- (1) 以上のことから、供試した系統の中から優良系統を選抜できる見通しが得られた。
- (2) 今回の調査は、結実初年度のものであり、隔年結果特性や糖度についても調査する必要がある。
- (3) 優良系統の総合的評価は4～5年間の継続調査の結果によって行う必要がある。
- (4) また、関係機関との共同で成分分析等の性調査を行う予定である。

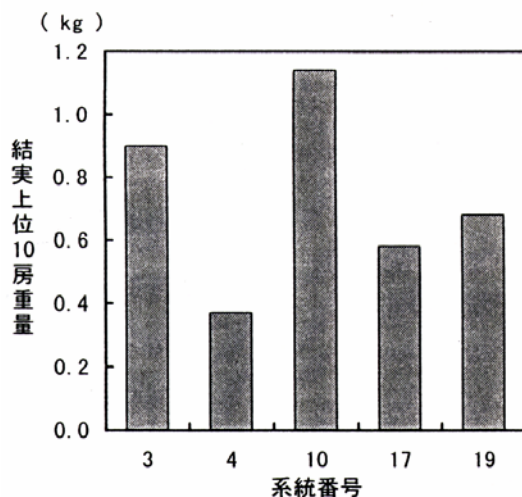


図 ヤマブドウ結実量調査(抜)

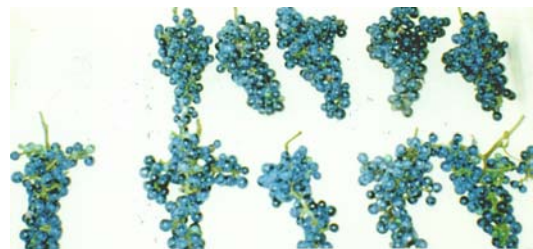


写真-1 実が密な系統(系統番号3)



写真-2 実が粗な系統(系統番号17)

(担当 特用林産部 専門研究員 泉 憲裕)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11 TEL 019-697-1536
 岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>